

グループ名	ユニット名等	科 目 名	担当教員名	対象学年次	学期
ビジネス	2 単位 現代経済	日本経済論	松田 慎一	1 年次	春

授業のキーワード	国民所得、物価、日本銀行、銀行、外国為替、失業と労働
授業の概要	この授業は、はじめて経済学を勉強する人を対象としてニュースや新聞で扱われる日本経済の理解を目標とします。経済関連科目を受講する人は必ず履修をする必要があります。入門の基本的な用語や考え方を学習します。
期待される学習成果（目標）	1. 経済学の考え方をを用いて、日本の経済について理解できる。 2. 入門の経済学に使う基本的な用語の理解と説明ができる。

授 業 展 開

	テーマ	内 容		テーマ	内 容
第 1 講	イントロダクション	授業概要の説明と、日本経済論とはどのような学問であるのかについて解説します。	第 9 講	金融システムを理解する(3)日本銀行の役割	日本銀行とは何か。日本銀行の役割とは。
第 2 講	国民所得とは(1)	ある国が経済的に豊かであるとは。	第 10 講	金融システムを理解する(4)	マネーストック、ベースマネーとは何か。
第 3 講	国民所得とは(2)	国民所得の見方について	第 11 講	外国為替とは(1)	外国為替とは何か。円・ドルレートの仕事とは。
第 4 講	物価とは(1)	インフレやデフレとは何か。	第 12 講	外国為替とは(2)	外国為替の変化と貿易への影響は。
第 5 講	物価とは(2)	物価の変化と経済への影響について	第 13 講	人と組織の経済学(1) 日本的な企業システム	日本企業の雇用慣行とは。
第 6 講	物価とは(3)	物価と貨幣価値について	第 14 講	人と組織の経済学(2)	労働市場の見方、失業率とは何か。
第 7 講	金融システムを理解する(1):貨幣とは	貨幣とは何か。貨幣の役割とは。	第 15 講	まとめ	この授業で解説した内容の総括を行います。
第 8 講	金融システムを理解する(2):銀行の役割	銀行とは何か。銀行の役割とは。	定期試験		授業内容に基づいた記述式の筆記試験を行う予定です。
評価方法		授業貢献度と課題を40%、期末試験を60%として総合点数により評価します。			
使用する教科書（必ず購入してください）			参 考 文 献		
必要に応じて資料を配布します。			伊藤元重『はじめての経済学(下)』日経文庫 マンキュー『入門経済学』第2版 東洋経済新報社 原田泰『日本経済論』新世社		